

SimPad SkillReporter

ユーザーガイド



使用目的	4
重要な情報	4
パッケージ内容	5
SimPad 概要	6
SimPad PLUS 概要	7
バッテリーを充電する	8
セットアップ	9
マネキンのセットアップ	11
マネキンの設定	16
ホーム画面概要	17
BLS 受講者モード	18
BLS インストラクターモード	19
QCPR フィードバック	25
BLS 設定	30
トラブルシューティング	31

使用目的

このバージョンの SimPad には、一次救命処置 (BLS) トレーニング向けの SkillReporter ソフトウェアがインストールされています。CPR パフォーマンスに関するフィードバックを得るには、QCPR 付きレサシアンや QCPR 付きレサシベビーなどの QCPR 対応マネキンを使用してください。

詳しくは、www.laerdal.com/jp/SimPad-SkillReporter をご覧ください

重要な情報

使用前に、このユーザーガイドを読み、本製品の操作をよく理解してください。

本ユーザーガイドでは、以下のモデルに関する操作手順を解説します:

- SimPad
- SimPad PLUS

本ユーザーガイドで使用される SimPad は、特別の定めのない限り、SimPad PLUS モデルにも適用されます。

パッケージ内容は外観が異なる場合があります、変更されることがあります。



SimPad/SimPad PLUS



SimPad ケース



USB ケーブル



ストラップ



電源コード



AC アダプタ

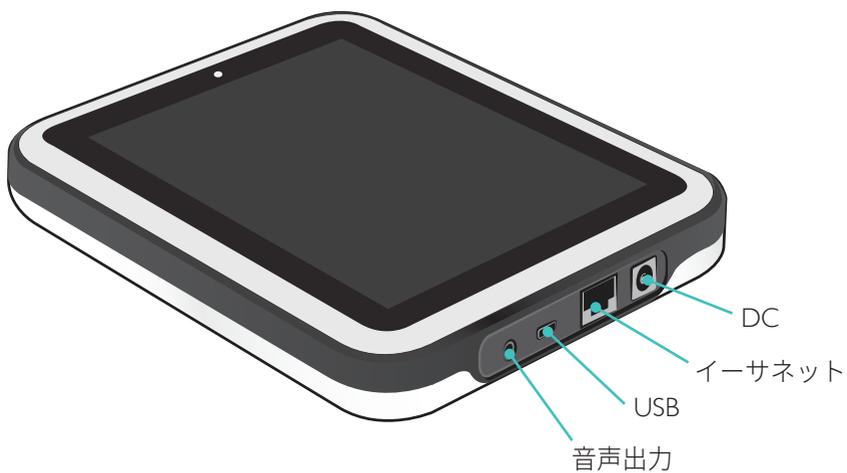


ユーザーガイド



重要な製品情報
(IPI)

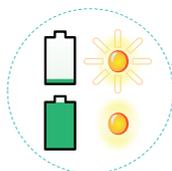
SimPad 概要





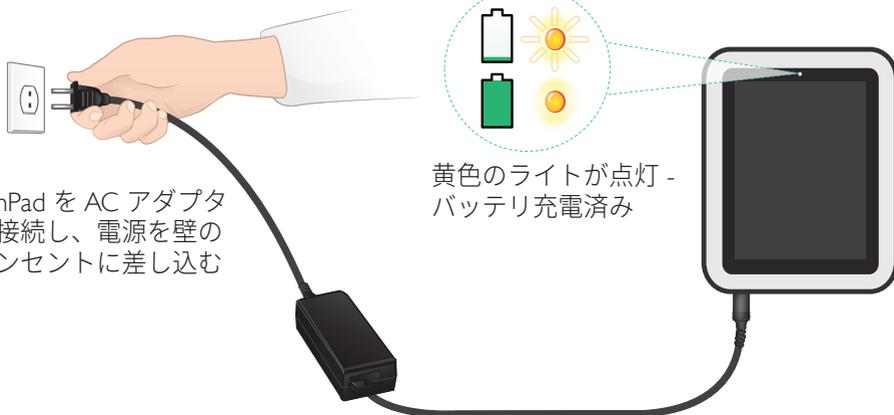
バッテリーを充電する

黄色のライトが点滅 -
バッテリー充電中

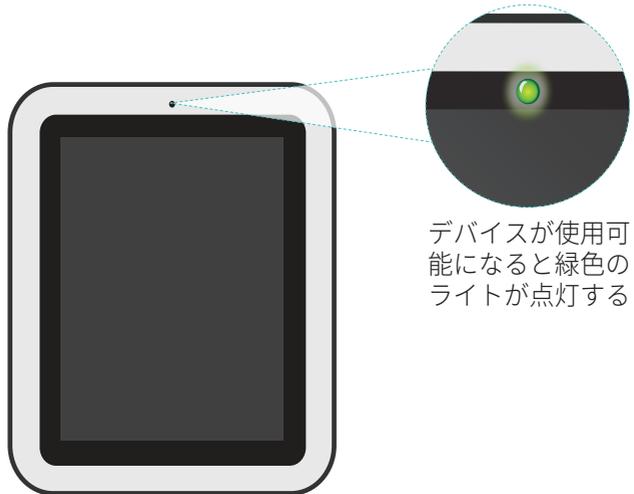


黄色のライトが点灯 -
バッテリー充電済み

SimPad を AC アダプタ
に接続し、電源を壁の
コンセントに差し込む



オン/オフにする

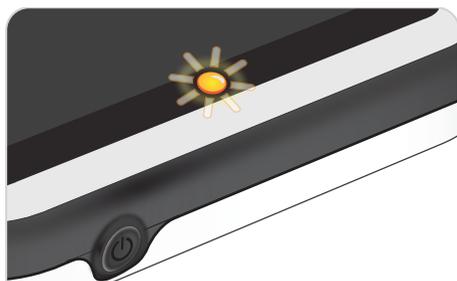


注

SimPad SkillReporter ソフトウェアとレサシアン QCPR マネキンソフトウェアが最新バージョンであることを確認します。最新版のソフトウェアと製品のダウンロードはすべて、製品ページよりダウンロードいただけます。www.laerdal.com/jp/SimPad-SkillReporter。

セットアップ

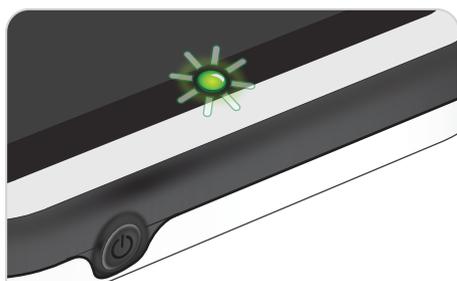
ステータス LED



オフ、バッテリー充電中 -
黄色のライトが点滅。



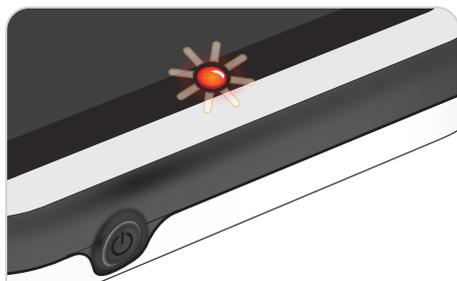
オフ、バッテリー充電済み -
黄色のライトが点灯。



起動時およびシャットダウン時 -
緑色のライトが点滅。



オン - 緑色のライトが点灯。



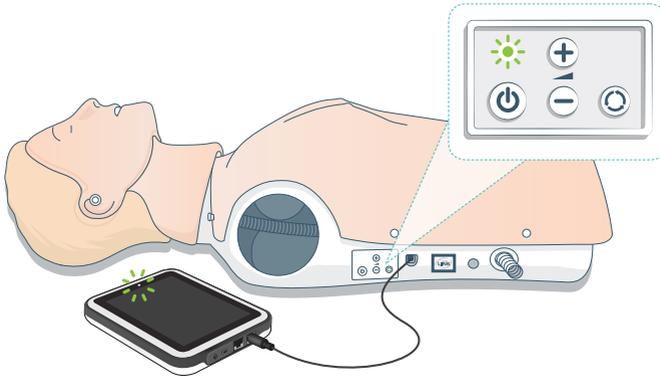
バッテリー残量低下 - 赤色のライトが
点滅。



エラー、要修理 - 赤色のライトが点灯。
ヘルプデスクまでお問い合わせください。

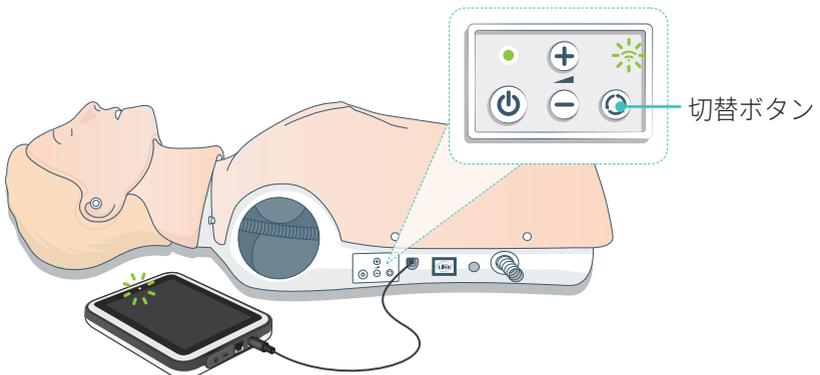
USB ケーブルを使用して 1 体のマネキンに接続する

SimPad を 1 体のマネキンに接続する場合、USB ケーブルによる接続が最も確実な方法です。USB ケーブルを使用する場合には、マネキンの電源は SimPad から供給されます。マネキンの電源が SimPad から供給されている場合は、電源アダプタを使用して、バッテリーが急速に放電されるのを防ぎます。



WiFi を使用して 1 体のマネキンに接続する

ワイヤレスで使用する場合、マネキンが WiFi モードになっている (マネキンのコントロールパネルの WiFi 記号が緑色になっている) ことを確認します。切り替え用のボタンを使用して、ケーブル、WiFi、Bluetooth モードに切り替えます。



マネキンのセットアップ

複数のマネキンを接続する

BLS インストラクターモードでは複数のマネキンを接続することができます。複数のマネキン (2~6 体) を操作する場合には、ルーター (マルチマネキンルーター) を使用することをお勧めします。

注

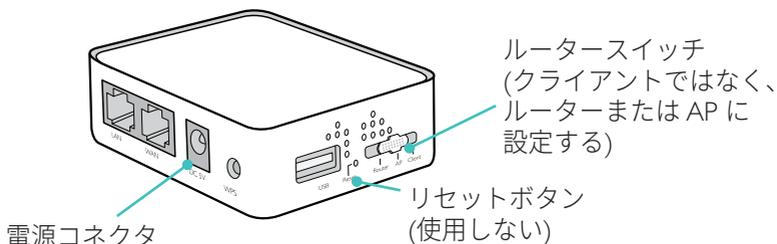
BLS 受講者モードでは、マネキンを 1 体しか選択できません。これは、マネキンを USB ケーブルで接続している、または 1 体しかマネキンが使用できないためです。

マルチマネキンルーターのセットアップ

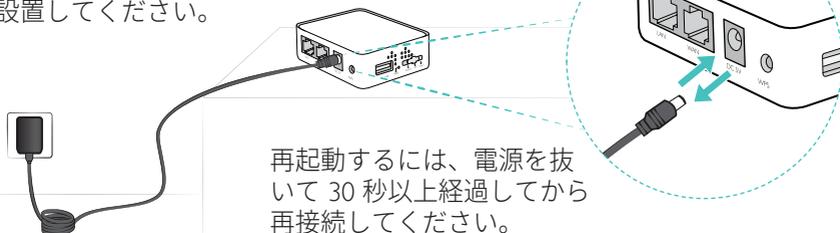
マルチマネキンルーター (別売) を使用したネットワークの構築が推奨されます。SimPad とマネキンを起動させる前に、ルーターを完全に起動させてください (約 2 分間)。



ルーターの電源には、付属の USB 電源 (5V)* のみを使用してください。



最適な性能を確保するために、ルーターを床面よりも上に設置してください。

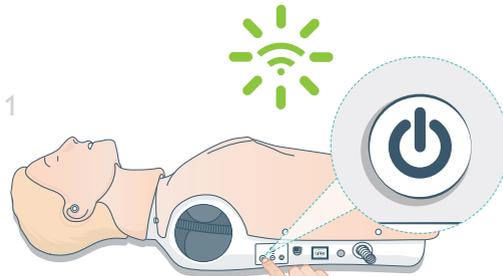


注

ルーターのリセットまたは変更をしないでください (パスワードや設定など)。

マネキン名を編集する

初めてマネキンを使用する場合、マネキンにはデフォルト名がついています (例: レサシアン QCPR)。複数のマネキンを把握するために、各マネキンに固有の名前を付けてください。付けた名前は、BLS インストラクターモードでマネキンを特定するのに使用されます。



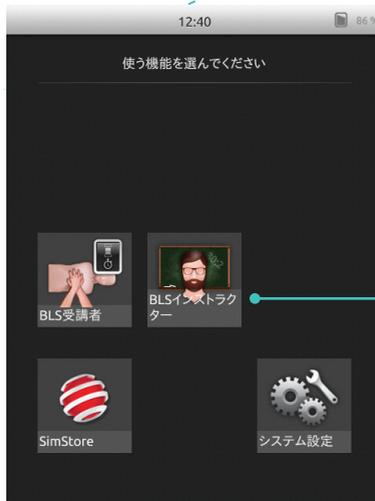
1
マネキンをオンにする
(WiFi モードになっている
ことを確認する)

2



SimPad をオンにする

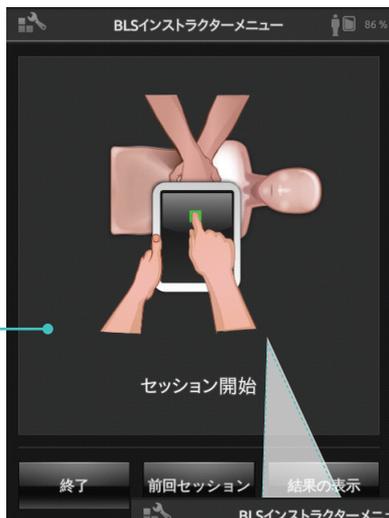
3



BLS インストラクター
モードを選択する

マネキンのセットアップ

4



<セッション開始> を押す

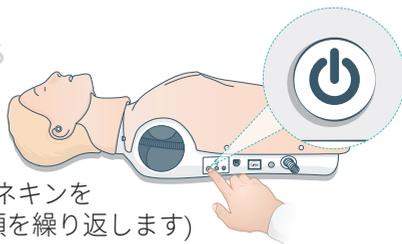
5



画面に表示されるマネキン (オンになっているマネキン) を選択する

先に指定した実際の名前に一致するように名前を編集する

6



マネキンをオフにする (新たにマネキンをセットアップする場合はこの手順を繰り返します)

マネキンを選択する

接続されている
マネキンの台数



マネキンをタップして、マネキンの選択および使用可能なネットワークにアクセスする

選択済み

接続済み

使用中 (別の SimPad が使用中)

接続切断

キャンセル OK

ネットワークを選択する

マネキンが1体以上選択されている場合は、いずれかのネットワークを選択するようメッセージが出ます。ネットワークにより、複数のマネキンと SimPad が通信できるようになります。

タップしてネットワークを選択する



キャンセル 続ける

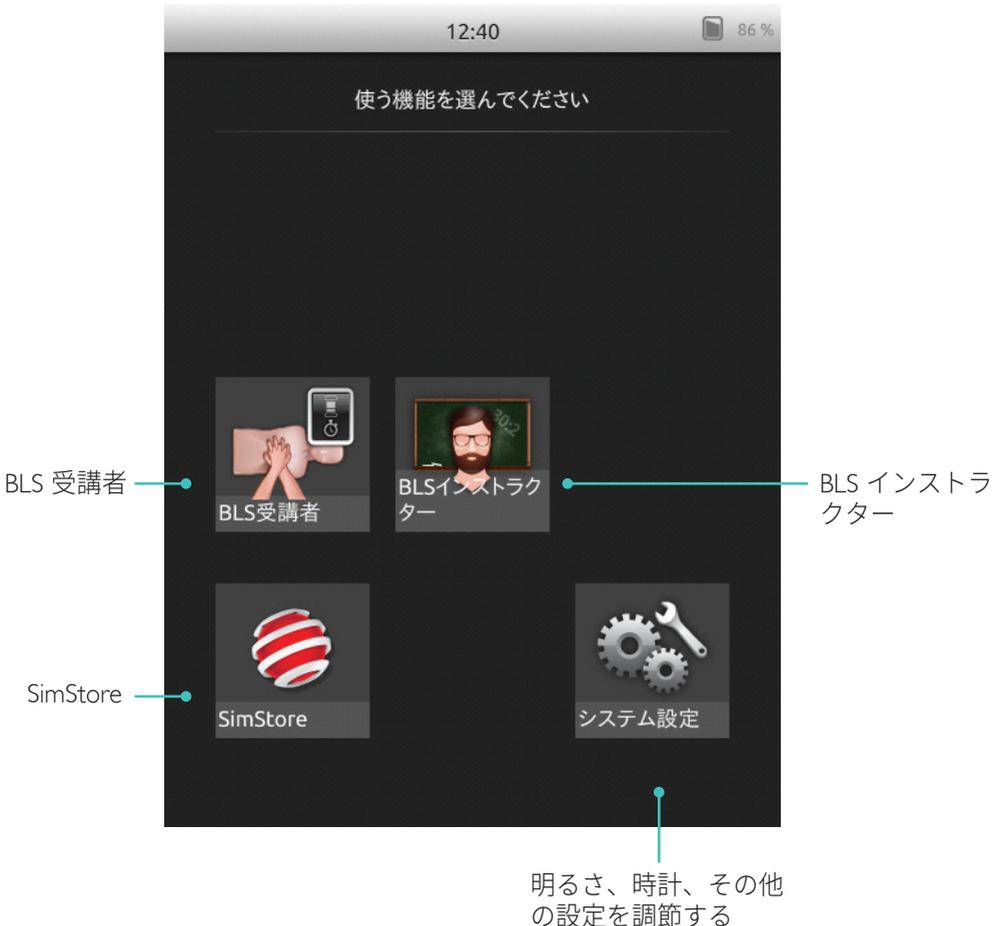
マネキンの設定

マネキンの情報

マネキンの詳細情報を確認するには、接続したマネキンのうち1体をタップし、そのまま2秒間押し続けてください。マネキンのステータス、マネキンのシリアル番号、マネキンのソフトウェアバージョン、そのマネキンがこれまでに受けた胸骨圧迫回数の情報を切り替えて表示することができます。



タップし、そのまま2秒間押し続けて状態を切替える



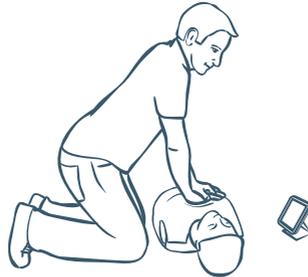
SkillReporter には BLS 受講者と BLS インストラクターの 2 つのモードがあります

BLS 受講者モードでは、1 体のマネキンで実施した CPR に関するフィードバックを行います。

BLS インストラクター モードでは、インストラクターが以下を実施できます。

- 最大 6 体のマネキンの CPR フィードバックの監視
- 1 体のマネキンへのイベントの登録
- AED (自動体外式除細動器) トレーニングの制御と監視 (1 体のマネキン)
- CPR-D/ShockLink トレーニングの監視とディブリーフィング (1 体のマネキン)

BLS 受講者モード



BLS 受講者モードでは、1 体のマネキンを使用して受講者に CPR パフォーマンスに関するフィードバックを行います。「練習」と「評価」のいずれか、また「CPR」(救助者 1 名または救助者 2 名)、「胸骨圧迫のみ」、「換気のみ」のいずれかから選択します。

The screenshot shows the BLS 受講者メニュー (BLS Learner Menu) app interface. At the top, it displays the title 'BLS 受講者メニュー' and the battery level '84%'. The main content area has two large buttons: '練習' (Practice) and '評価' (Evaluation). Each button features an illustration of hands performing CPR on a mannequin's chest and a smartphone icon. Below these are three smaller buttons: '終了' (End), '前回セッション' (Previous Session), and '結果の表示' (Display Results). Callouts provide additional information: 'タップして開始する' (Tap to start) points to both the '練習' and '評価' buttons. 'リアルタイムフィードバックを使用して CPR を練習する' (Use real-time feedback to practice CPR) points to the '練習' button. 'パフォーマンスをテストし (フィードバックあり/なし)、結果を保存する' (Test performance (with/without feedback), save results) points to the '評価' button. '前回のセッションの結果を表示する' (Display results of the previous session) points to the '前回セッション' button. '保存済みのセッションの結果を表示する' (Display results of saved sessions) points to the '結果の表示' button.

タップして開始する

練習

リアルタイムフィードバックを使用して CPR を練習する

評価

パフォーマンスをテストし (フィードバックあり/なし)、結果を保存する

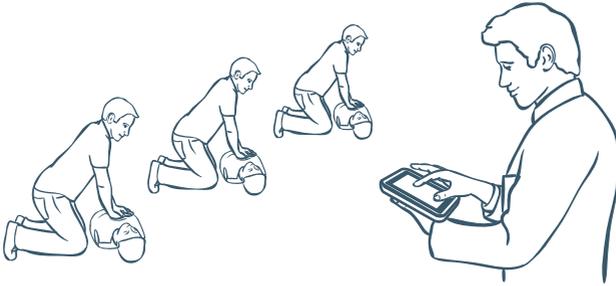
終了

前回セッション

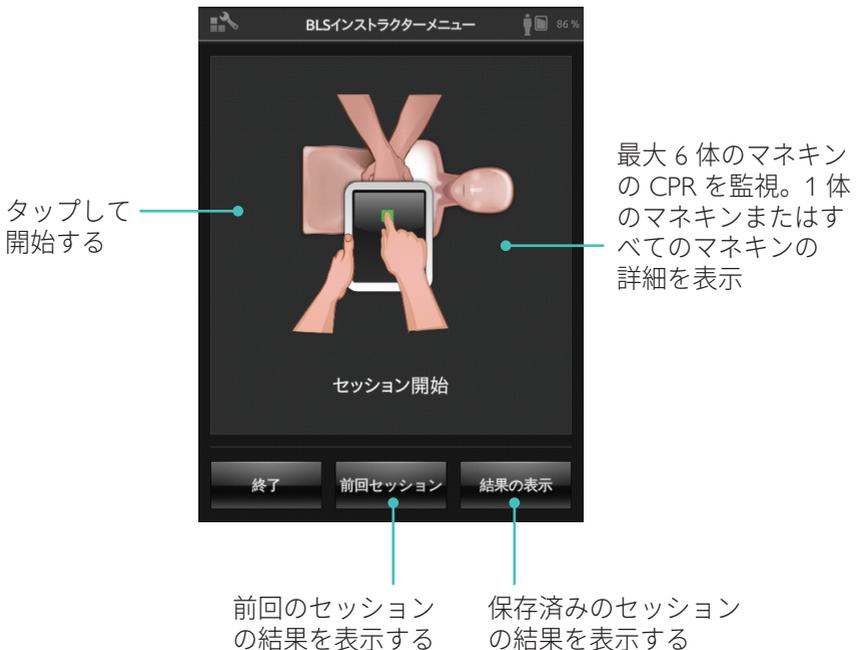
結果の表示

前回のセッションの結果を表示する

保存済みのセッションの結果を表示する



インストラクターは、BLS インストラクターを使って、1 体または複数体のマネキンにおける受講者のパフォーマンスをレビューし、イベントを登録し、除細動機能を制御することができます (マネキンのモデルにより異なる)。セッションは保存でき、受講者管理用機能を使用することができます。



注

BLS インストラクターモードでは、一度に 1 体のマネキンに対してのみ、AED と、ShockLink を使ったトレーニングの監視とフィードバックを提供できます。

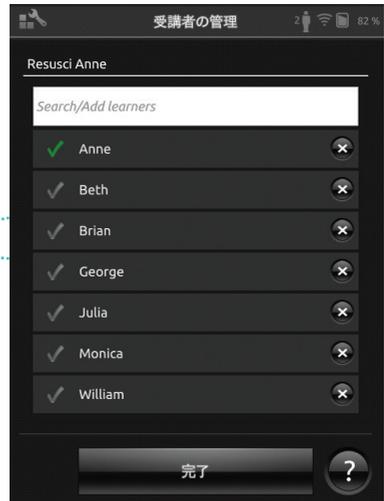
BLS インストラクターモード

アルゴリズムを選択する

CPR、胸骨圧迫のみまたは人工呼吸のみのいずれかを選択します。CPR セッションの場合、救助者 1 名または救助者 2 名のいずれかを選択します。救助者 2 名のセッションの参加者は、救助者 1 名のセッションよりも許容されるノーフロータイムが短いです。



タップして、受講者名を接続されたマネキンに割り当てる

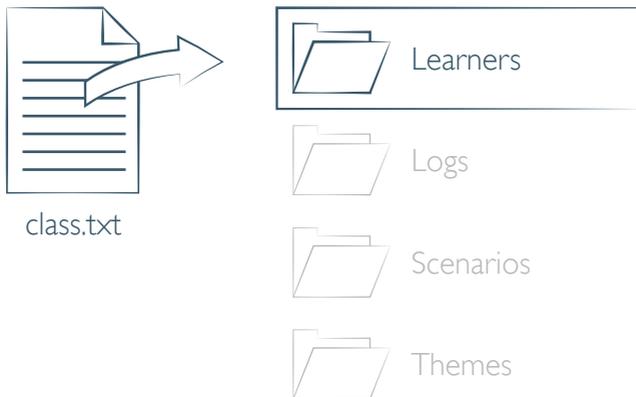


各マネキンに、受講者名をひとつ、または複数割り当てます。受講者をタップして、セッション前、セッション中、セッション後のいずれかに名前を割り当てます。これは保存され、後で参照できます。受講者リストは BLS 設定で表示・編集します。

受講者の管理

大人数の受講者を管理するために、SimPad に名簿をインポートします。USB ケーブルを使用して、コンピュータに SimPad を接続します。SimPad は外部ディスクドライブとして表示されます。

メモ帳などを使用して、1 行につき受講者 1 名を記録したテキストファイル「class.txt」を作成します。テキストファイルを SimPad ドライブのフォルダ「受講者」に移動させます。



BLS インストラクターモード

イベント登録

イベントの登録には、セッション中の「意識の確認」や「助けを呼ぶ」が含まれます。これらのイベントは、タイムラインに表示され、セッションに保存されます。



タップしてイベントを登録する

緑色の丸は登録済のイベントを意味します。数字は登録されたイベントの頻度を意味します。

イベントのカスタマイズ

BLS 設定 > イベント登録の表示で、イベントをカスタマイズすることができます。イベントの登録機能は、BLS 設定で無効にすることができます。



注

イベントの登録は、1:1 の接続でのみ可能です。

除細動器機能

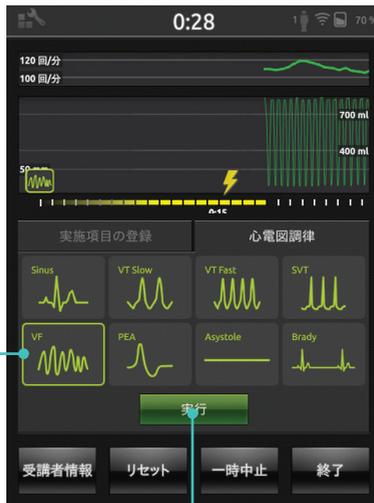
除細動器を使用した除細動トレーニング (マニュアルおよびオート) は、SkillReporter を搭載した SimPad で監視することができます。トレーニングは 3 種類の方法で行うことができます:

- ShockLink とレサシアン AED マネキンの併用
- レサシアン QCPR D
- AED トレーナ 2 と AED トレーナ 3

ShockLink またはレサシアン QCPR D を使用した除細動

ShockLink を使うと、互換性のある除細動器を ShockLink 対応のトレーニング用 マネキンと患者シミュレータに接続することができます。ShockLink に関する詳細は、www.laerdal.com/jp/ShockLink をご覧ください。

新しい調律を選択する。待機中の調律は点滅。

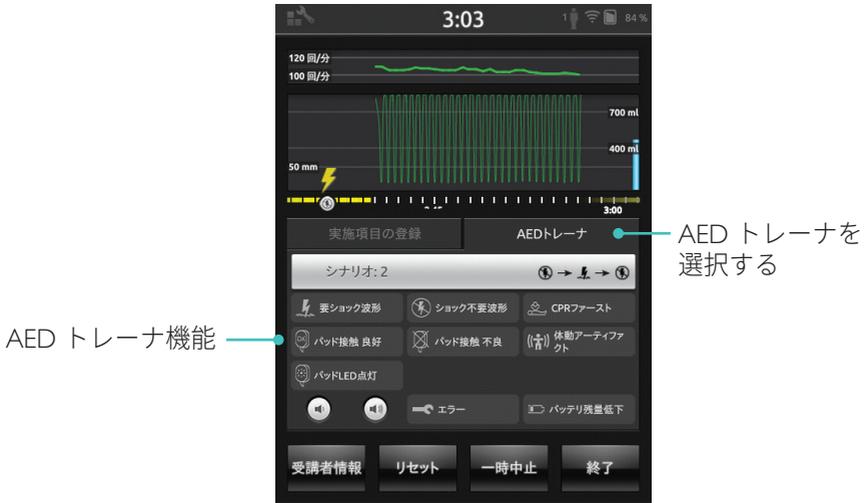


タップして有効化 (ショックを実施すると調律が実行される)

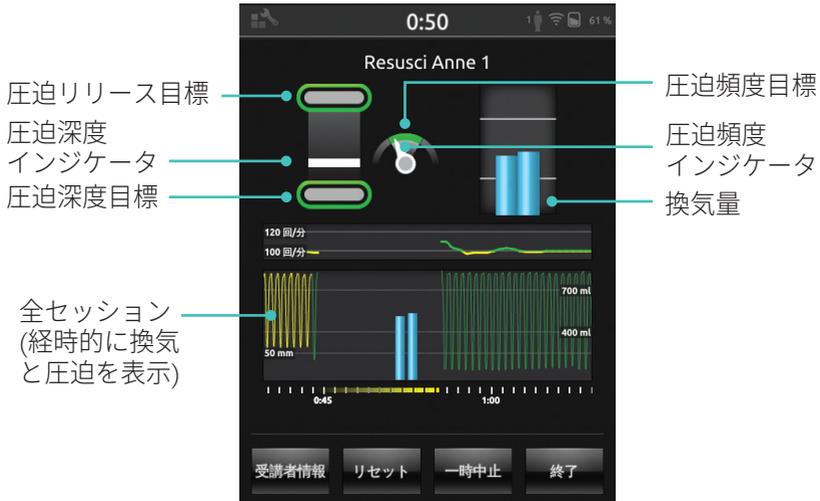
BLS インストラクターモード

AED トレーナ 2 と AED トレーナ 3

AED トレーナタイプを選択すると、BLS 設定でこの機能を有効にすることができます。トレーニングパッドを正しい位置に取り付けると、AED トレーナのリモコンとして SimPad を使用することができます。



SkillReporter はリアルタイムの CPR フィードバックを表示します。



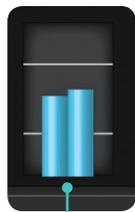
圧迫深度



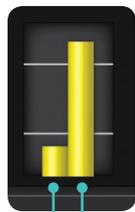
圧迫頻度



換気量



適切



少なすぎる 多すぎる

換気速度



適切



遅すぎる



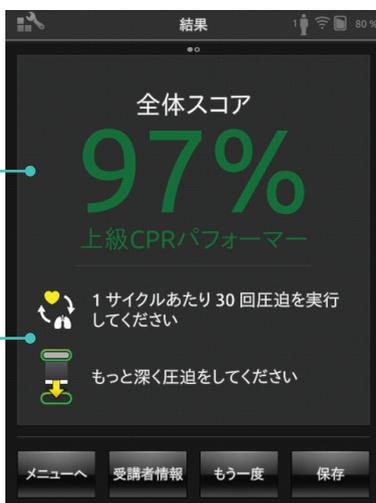
速すぎる

結果

最初の結果画面では、総合スコア (設定で有効にしている場合) と、CPR パフォーマンスの改善方法に関するアドバイスが表示されます。

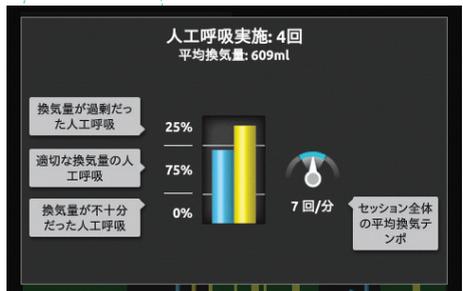
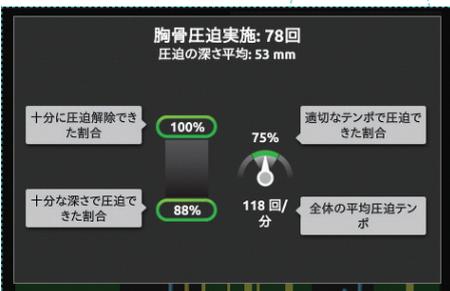
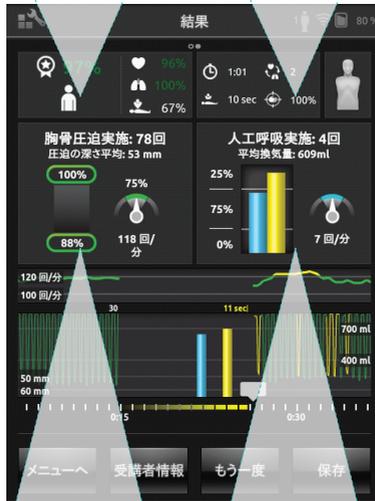
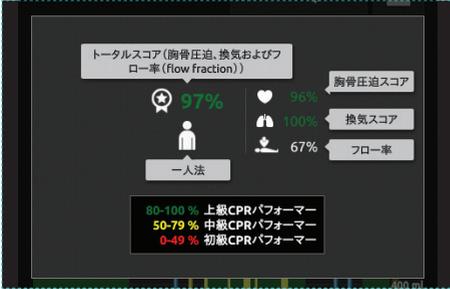
画面をタップ
またはスワイプ
して詳細を表示
する

CPR パフォー
マンズの所見を
2 件示す



QCPR 概要

画面をタップまたはスワイプして詳細を表示する



採点に関する詳細は、www.laerdal.com/jp/qcpr をご覧ください。

QCPR フィードバック

タイムライン

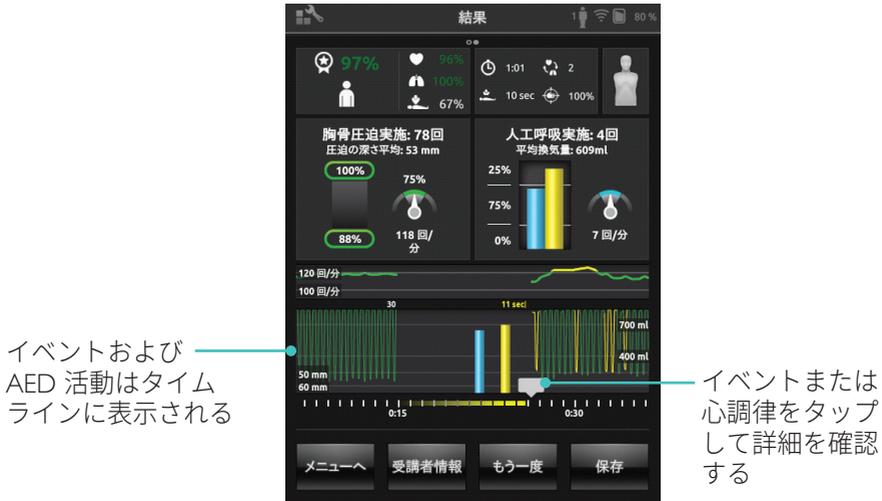
過去 30 秒間のパフォーマンスデータがタイムラインに表示されます。



タイムラインを拡大
またはスクロール
する

人工呼吸のみのセッションを行っている場合、圧迫速度ではなく換気速度の分布曲線が表示されます。イベントおよび AED 活動はタイムラインに表示されます。

AED を使用したシナリオトレーニングの場合や、イベント（応答チェック、呼吸チェックなど）が登録されている場合には、フロー中断時間は総合スコアに含まれません。これにより、総合スコアが減点されることなく正しい医療処置を行うことが可能となります。フロー中断時間は個別に表示されます。



BLS 設定

BLS 設定メニュー

BLS 設定メニューでは、定義済みの CPR ガイドライン (ヨーロッパ蘇生協議会 [ERC] および米国心臓協会 [AHA]) を選択したり、閾値やその他の設定をカスタマイズできます。



定義済みの CPR
ガイドラインを
選択する

閾値をカスタマイズ
する

問題	解決策
<p>マネキンが接続されません。マネキンが特定されるまで最大 15 秒かかる場合があります。リストに表示されない場合は、次の解決策をお試しください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • マネキンのスイッチがオンであること、また、マネキンのコントロールパネルの WiFi 記号が緑色になり、WiFi モードになっていることを確認します。 • マネキンが SimPad 以外のネットワークに接続されている可能性があります。マネキンを選択できるようにするには、マネキンの切替ボタンを押し続けてください。2 秒後に電子音が鳴り、マネキンがリセットされます。
<p>WiFi 通信が多い場所では接続エラーが起こる可能性があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 通信量の多い WiFi チャンネルを回避するには、マルチマネキンルーターにログオンして通信量が低い WiFi チャンネルに変更します。 • 「ルーターのチャンネルを変更する方法」ガイドは SimPad SkillReporter 製品ページよりダウンロードいただけます。 www.laerdal.com/jp/SimPad-SkillReporter • 最も確実に 1 体のマネキンを接続する方法は、USB ケーブルによる接続です。ケーブルで接続されたマネキンは、選択済みかつ接続済みとしてマネキンリストに表示されます。

© 2016 Laerdal Medical AS. 無断複写・転載を禁じます。

製造元: Laerdal Medical AS
P.O. Box 377
Tanke Svilandsgate 30, 4002 Stavanger, Norway
T: (+47) 51 51 17 00

Printed in USA

20-11081 Rev A

www.laerdal.com



Laerdal
helping save lives